

簡単! やってみよう! 「雑がみ」の分別

「雑がみ」を分別!

紙類のうち、「雑がみ」とは、新聞、段ボール、紙パック以外の資源化できる紙のことです。

昨年度、田原市で分別された紙類の売却益は約2700万円でした。この収益はごみ収集費用などに使われますが、「雑がみ」の分別を徹底す

「雑がみ」の種類



紙箱、包装紙、トイレットペーパーの芯など



封筒、はがき、紙袋



パンフレット、ダイレクトメールなど



資源化できないもの

- ▶ ビニールがついているもの
例: 封筒のビニール窓
- ▶ 汚れがひどいもの
例: 酒パックの容器など
- ▶ においのついたもの
例: せっけんや線香の箱など
- ▶ 感熱紙(レシート)など



「もやせるごみ」へ
(週2回収集)



紙袋に入れ、ガムテープなどで留める



「紙類・布類」へ
(月1回収集)

3,600万円をもやすことになってしまったなんて...もったいないよ!



れば、さらに約3600万円の収入が見込まれることとなります。「雑がみ」は日常生活でよく目にするため、分別を徹底することのでかなりの回収が期待できます。

◎説明会(中山自治会)での参加者の声

今まで「もやせるごみ」に入れていたものが資源になるなんてびっくりしました。簡単なことが多かったので、今後やっていけそうです!

荒木さん



身近なごみの分別の話を聞くことができてよかったです。雑がみを紙袋に入れて出すことは知らなかったですね。今日からすぐにできますね!

渡會さん

説明会に参加しよう!

田原市では、「雑がみ」の分別のほか、「もやせるごみ」を減らすため、説明会を開催しています。実際に説明会に参加した市民の皆さんにお話を伺いました。

ごみ分別説明会の開催希望者を募集しています!

「雑がみ」の分別のほか、誰でも簡単にできるごみの分別について、市職員がわかりやすく説明します。

地域やお仲間、私たちの身近な「ごみの分別」について知ってみませんか。

《対象》

10人以上の団体や組織など

《説明内容》

① 田原市のごみの現状

② もやせるごみを減らすための3つの作戦

③ ごみ分別の3つのポイント

《所要時間》

30分〜1時間程度(要相談)

※参加者にはごみ減量グッズをプレゼントします。

《申し込み方法》

電話にてお問い合わせください。

▼廃棄物対策課 ☎23局355388

市民の皆さんにぜひ聞いてもらいたい! 申し込みお待ちしています!

